2019年度　　授業概要

科目名	福祉住環境論							授業の種類	講義	必修・選択	必修
授業回数	8	回	時間数	15	時間	1	単位	配当学年時期		２年	前期

【授業の目的・ねらい】

福祉用具の活用法と住宅改修のポイントを学ぶ

【実務者経験】

作業療法士として公立社総合病院、介護老人保健施設あさぎり むつみ荘にて身体障害領域の急性期から回復期までのリハビリテーションの従事経験。

【授業全体の内容の概要】

各動作における福祉用具の良い点と注意点を学ぶ。また、住宅改修についても各動作や場所ごとに改修ポイントを学ぶ。

【授業終了時の達成課題（到達目標）】

作業療法士にとって必要な福祉用具と住宅改修のポイントについて理解する。また、福祉住環境コーディネーター２級修得をめざす。

回数	講義内容	準備物(教材)
1	福祉用具の概要、起居、移乗動作にかかわる福祉用具	
2	移動動作に関わる福祉用具	
3	更衣・整容・入浴に関わる福祉用具	
4	排泄に関わる福祉用具	
5	バリアフリー展見学	
6	バリアフリー展見学	
7	住宅改修（段差解消ほか）	
8	住宅改修（場所別）	
	定期筆記試験	

【　使用教科書・教材・参考書　】

東京商工会議所公式福祉住環境コーディネーター２級テキスト

【　準備学習・時間外学習　】

バリアフリー展で得た知識と講義内で得た知識を統合させること。

【　単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）　】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。
課題の評価50点、定期試験50点として合計100点とする。
60点以上の場合に科目を認定する。